

# 街路樹管理業務委託特記仕様書

令和8年5月

相 模 原 市

## 1 出来形数値基準及び単位

調査数量、出来形数量の表示単位及び数値は原則として次のとおりとする。

### ① 除草面積（単位： $\text{m}^2$ ）

各路線の細別は、小数点以下第2位まで（第3位を切捨て）

全体数量は、小数点以下を切捨て、整数とする。

### ② 中低木及び高木（単位： 本 ）

### ③ 幹周（単位： $\text{cm}$ ）小数点以下を切捨て

## 2 面積数量計算等については次のとおりとする。

### ① 除草面積（除草作業回数は、一部を除き、原則1回とする。）

イ) 機械除草（肩掛式）  $A \times 1 (\text{回}) \times 0.90 \times 0.80$

ロ) 植込み地  $A \times 1 (\text{回}) \times 0.80 \times 0.80$

ハ) ウォール部  $A \times 1 (\text{回}) \times 0.80 \times 0.80$

二) 芝地  $A \times 1 (\text{回}) \times 1.00$

なお、植樹桝（高木が植樹されている桝）については、控除率0.80を乗じること。ただし、除草が不要と思われる箇所（既に地域で除草をしている所等）については、施工対象外とする。その他の植樹桝については、監督員と協議すること。

### ② 寄植面積（剪定刈込み作業回数は、1回とする。）

樹木の規格・仕様は剪定後の高さとする。

イ)  $H = 60 \text{ cm}$  未満

天端面積  $= L \times W$

ロ)  $H = 60 \text{ cm}$  以上

天端・側面・端部面積  $= L \times H \times 2 + L \times W + W \times H \times 2$

なお、障害物・樹木の枯れ等で控除する場合は、控除する範囲の状況により、控除率（80%、50%、30%等状況による）を考慮すること。

ハ) 切り詰め剪定

天端面積  $= L \times W$

### ③ 株物（アジサイ等） 寄植 $H = 60 \text{ cm}$ 未満に計上する。

1株当たり  $1.4 \text{ m}^2$ （投影面積）とする。

### ④ 幹周り

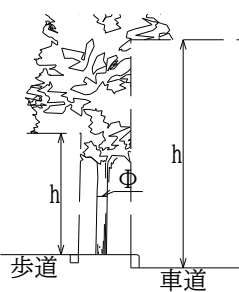

幹周り寸法については、根元の上端から  $1.2 \text{ m}$  上がりの位置で測定するものとする。また、幹が枝分かれ（株立樹木）している場合の幹周は、各々の総和の70%とする。なお、当該測定値と設計値との差が設計値の20%以内である場合は、設計値の範囲内とみなす。

### 3 施工管理基準及び写真管理基準

「相模原市土木工事施工管理基準※」及び「相模原市土木工事写真管理基準※」によることとし、定めのない事項について、次のとおりとする。

なお、幹周を除き、出来形管理表、出来形管理図表の作成は不要とするが、施工管理の出来形寸法の管理においては、寸法の測定を定められた密度で実施し、出来形管理写真として整理すること。幹周については、出来形管理表を作成し、完成図書に添付すること。

#### 施工管理基準

工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所
高木せん定	高さ h	車道側：4.7m以上 (重要物流道路は5.0m以上) 歩道側：2.5m以上	路線毎及び街路樹 10 本に 1 箇所測定	
	幹周 Φ	設計値×(1±0.2)の範囲内	全数	
寄植せん定	高さ h	設計値+50mm	路線毎及び施工内容毎で 100m に 1 箇所測定	

#### 写真管理基準

区分	工種	写真管理項目		
		提出頻度	撮影頻度	整理条件
出来形管理写真	高木せん定	出来ばえ、高さ	路線毎及び街路樹 10 本に 1 回 (出来ばえは施工前後、高さは施工後)	適宜
	寄植せん定	出来ばえ、高さ	路線毎で 100m に 1 回 (出来ばえは施工前後、高さは施工後)	適宜

※掲載先：市 HP (トップページ) ≫ 市政情報 ≫ まちづくり・環境 ≫ 公共工事の技術・積算

### 4 その他

- イ) 除草作業には、障害物除去を含んでいる。除草作業においては、作業前に空き缶等の障害物を除去し、適正に処分すること。
- ロ) 道路付属施設 (道路付属施設および構造物の基礎等) が頻繁にあり肩掛式の使用が危険な場合は、人力施工とする。なお、この場合、監督員に報告し承認を得ること。なお、人力施工から機械施工する場合も同様とする。
- ハ) 除草面積 A については、植樹帯に構造物がある場合は、その構造物 (コンクリートブロック、AS 舗装端) の内側面積とする。

ウォール部分の出来形面積算出（除草・寄植剪定刈込み）については、投影面積とする。（側面部分は計上しないこと。）

二）業務に必要な過年度の成果については、貸与するものとする。なお、成果品の貸与については、書類を以って貸与依頼すること。